

機関リポジトリとオープンアクセス

吉松, 直美
九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係

<https://hdl.handle.net/2324/18502>

出版情報 : 2010-11-04. Kyushu University Library
バージョン :
権利関係 :



機関リポジトリとオープンアクセス

DRF 主題ワークショップ(医学・看護学)in 奈良
平成22年11月4日(木)

九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係 吉松 直美



九州大学

本日のお話

1. 機関リポジトリとは？
2. オープンアクセスとは？
3. オープンアクセスと医学・看護学分野
4. 機関リポジトリと医学・看護学分野

さいごに ： 機関リポジトリの可能性

0. 自己紹介にかえて

九州大学附属図書館

- ・5つのキャンパスにそれぞれの館と室
- ・共通機能は中央図書館に集中

◆箱崎キャンパス

◆^{まいだし}馬出キャンパス

◆大橋キャンパス

◆筑紫キャンパス

◆伊都キャンパス

中央図書館
文系合同図書室
医学図書館
芸術工学図書館
筑紫図書館
伊都図書館



リポジトリ係

- ・平成21年度から新しく設立された
機関リポジトリを担当する係

- ・eリソースサービス室に配置

eリソースマネジメント係

eリソースサポート係

リポジトリ係

eリソース(電子ジャーナル・電子ブック

・データベース・Web上の情報源等)を
トータルサポートする



医学図書館



中央図書館

1. 機関リポジトリとは？

機関リポジトリ (Institutional Repository)

Repository : 倉庫、収納庫、宝庫の意

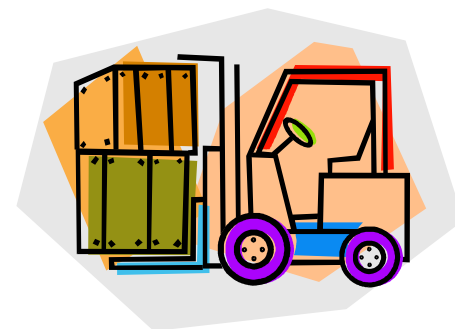
大学及び研究機関等において生産された電子的な**知的生産物を収集・保存し、原則的に無償で公開・発信**するためのインターネット上の学術情報資源管理システム

レイム・クロウ(Raym Crow):

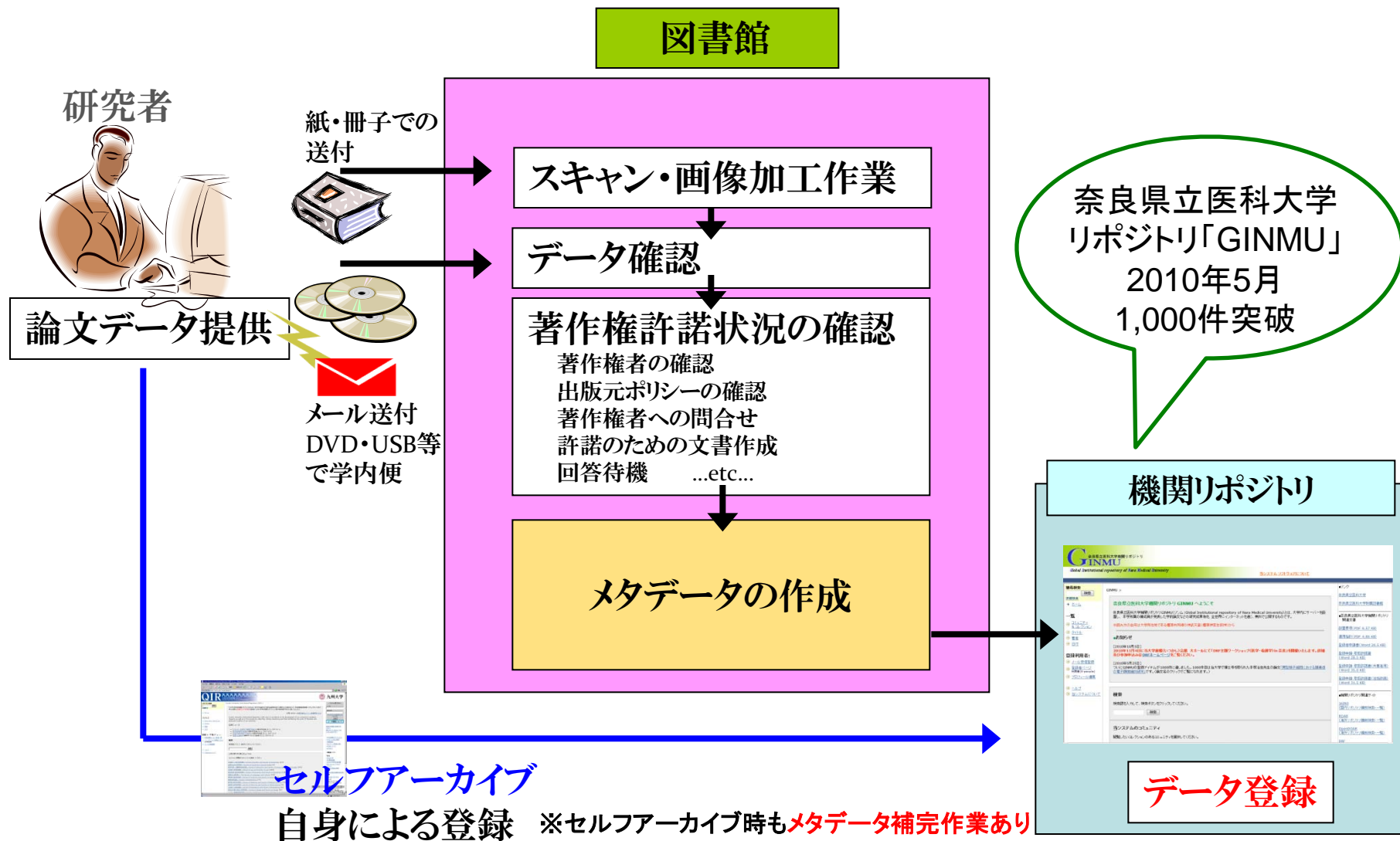
単独あるいは複数の大学コミュニケーションの知的生産物を捕獲し保存するデジタル・コレクション

クリフォード・リンチ(Clifford Lynch):

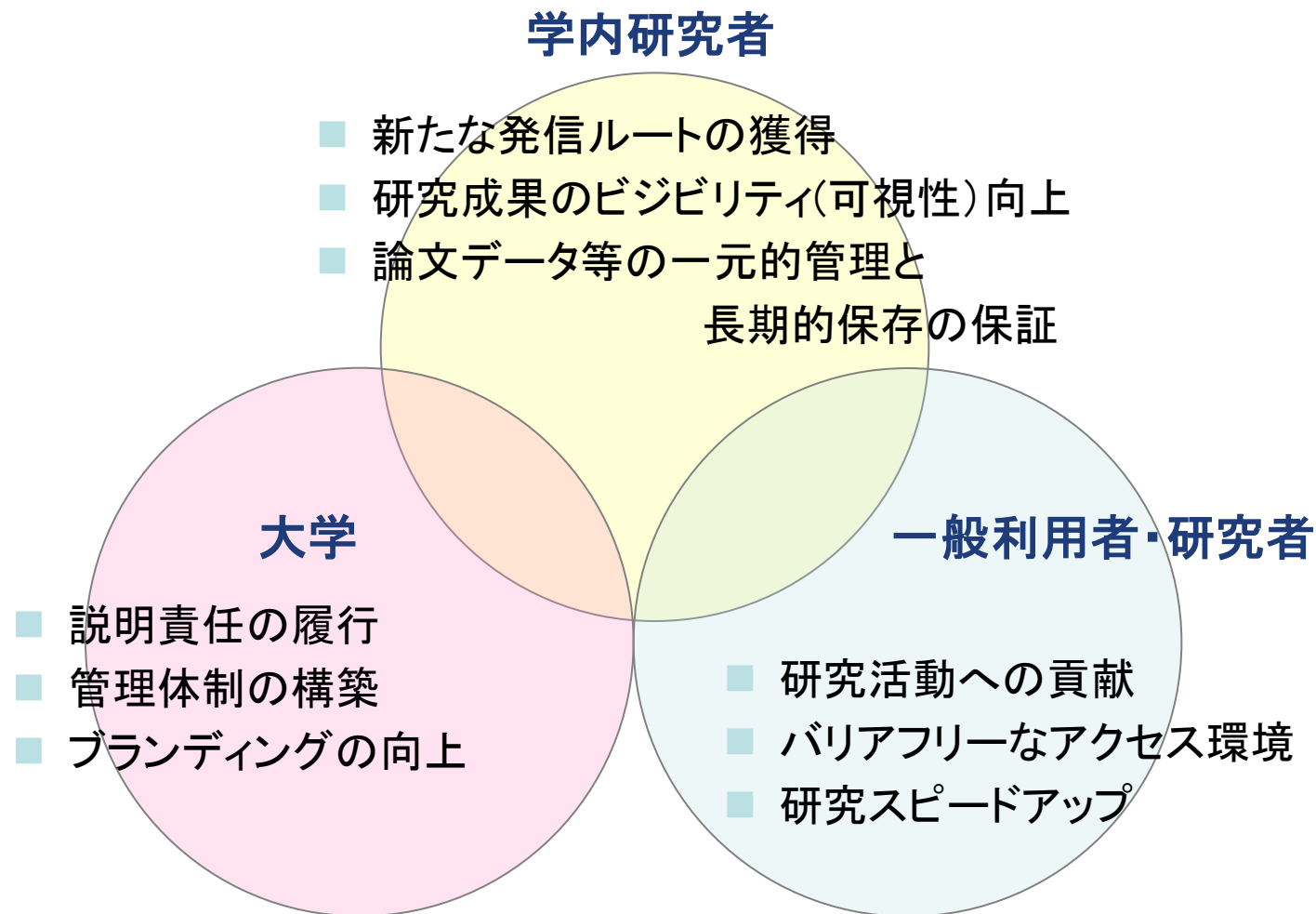
大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス



1. 機関リポジトリとは？



1. 機関リポジトリとは？



1. 機関リポジトリとは？

国内の状況

－最初のリポジトリは2003年（試験公開）、千葉大学に設置

－日本では、2006年～2007年に急増

この急増の背景には、国立情報学研究所(NII)による
学術機関リポジトリ構築連携支援事業（CSI委託事業）の
支援がある。

【HP】 <http://www.nii.ac.jp/irp/>

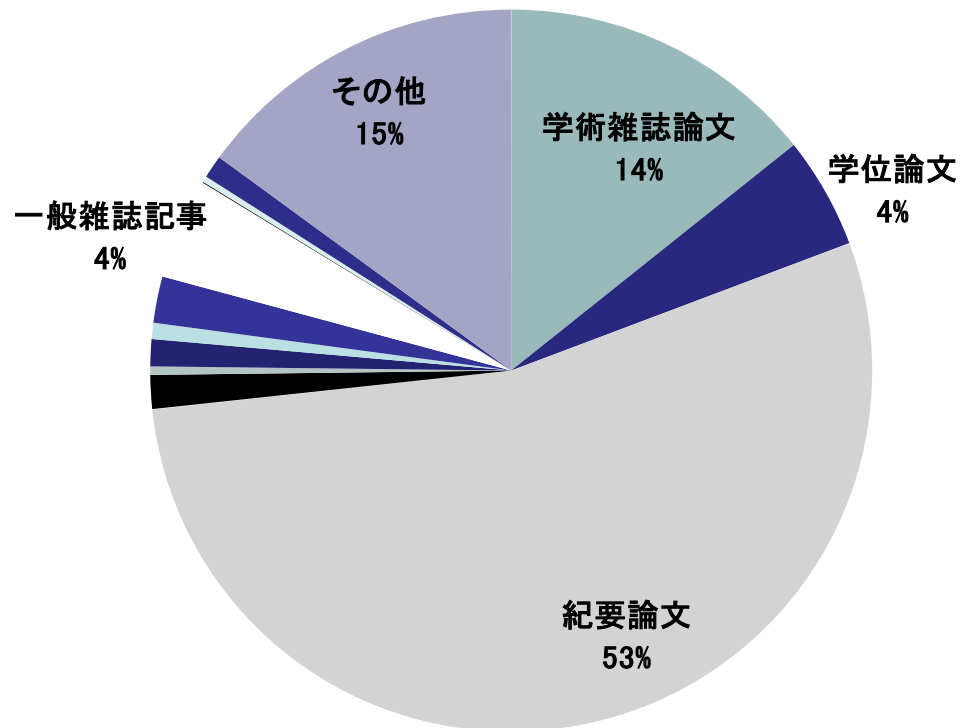
－現在の公開機関数は、188 機関（2010/9/30）

※数字は上記URL同ページ「機関リポジトリ統計」から

1. 機関リポジトリとは？

国内の状況

- 学術雑誌論文
- 学位論文
- 紀要論文
- 会議発表論文
- 図書
- テクニカルレポート
- 研究報告書
- 一般雑誌記事
- プレプリント
- 教材
- データ・データベース
- ソフトウェア



1. 機関リポジトリとは？

国内の状況

「学術情報基盤の今後の在り方について(報告)」

(平成18年3月 科学技術・学術審議会学術分科会)

II.学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備の在り方について

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/06041015.htm

大学は我が国の多くの研究資源を有する機関であり、その研究成果等を積極的に発信することは学内の教育研究活動を活性化させるだけでなく、我が国の学術情報の円滑な流通や社会貢献の観点からも重要である。

...各大学は、学協会との連携を図りつつ、機関リポジトリに積極的に取り組む必要がある。その場合、大学図書館は機関リポジトリの構築・運用に中心的な役割を果たすことが期待される。

1. 機関リポジトリとは？

国内の状況

「大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について（審議のまとめ）」
（平成21年7月 科学技術・学術審議会学術分科会）

2.学術情報発信・流通の推進 （2）機関リポジトリ

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/attach/1283003.htm

…各大学等において構築したリポジトリを今後も継続して運営していく上では、大学全体におけるリポジトリ事業の位置付けの明確化、図書館業務としての定着、大学独自のシステムの構築と維持体制の整備などが課題として挙げられる。

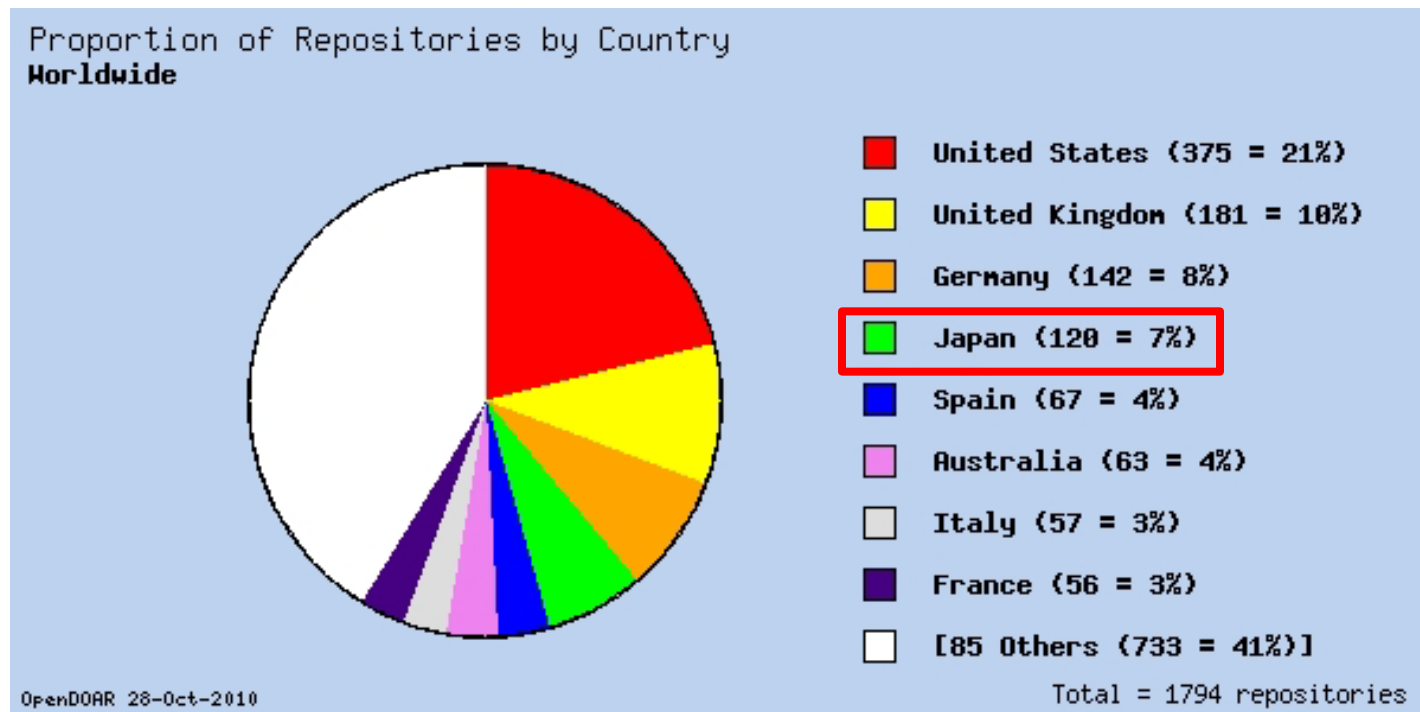
課題をピックアップすると

- ・独自機関での構築が難しい機関のための共用リポジトリのシステムを構築
- ・研究者自らによる論文の登載を促進するソフトウェアの開発等
- ・機関リポジトリの重要性についての認識を高める活動（特に人文社会科学系分野）
- ・機関リポジトリの登載論文数の増加や質の向上（大学や研究機関のOA義務化など積極的な働きかけ）
- ・図書館職員の専門性の向上

1. 機関リポジトリとは？

世界での位置は？

ー現在、機関リポジトリの世界的ディレクトリOpenDOARによるとリポジトリ数はアメリカ・イギリス・ドイツにつぎ、日本は第4位に相当する



1. 機関リポジトリとは？



世界の構築・取組事例を学ぶ

ーノッティンガム大学・エディンバラ大学

参考文献：e-プリント機関アーカイブのセットアップ（2002.3）

<http://www.nii.ac.jp/irp/archive/translation/eprints/>

ーグラスゴー大学

参考文献：機関リポジトリをコンテンツで満たす（2003.10）

<http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/mackie/>

ーロチェスター大学

参考文献：より多くのコンテンツを機関リポジトリに集めるために
教員を理解する（2005.1）

<http://www.nii.ac.jp/irp/archive/translation>

1. 機関リポジトリとは？

4つの要素

- 文献(全文)
- オンライン(電子的流通)
- 無料での利用
- できるだけ制約のない利用

= オープンアクセス(OA)の4つの要素

機関リポジトリはオープンアクセスの一翼を担っている

→ オープンアクセスとは？

2. オープンアクセスとは？

大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について(審議のまとめ)平成21年7月
科学技術・学術審議会学術分科会 2.学術情報発信・流通の推進 (1)オープンアクセス 抜粋

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/attach/1283003.htm

論文などの学術研究成果は、本来、人類にとって**共通の知的財産**であり、その内容を必要とする**全ての人がアクセス**できるようにすることが求められる。

このような観点から、オンラインにより**無料で制約なく論文等**にアクセスできることを理念とするオープンアクセスを推進する必要がある。

2. オープンアクセスとは？

ピーター・スーバー(Peter Suber):

デジタルでオンライン上に存在する文献への無料で、制約のないアクセス

オープンアクセスの簡略紹介

<http://www.slis.keio.ac.jp/~mine/OA/brief-ja.html>

オープンアクセスの**BBB**定義:

- ・**ブダペスト**・オープンアクセス・イニシアチブ

Budapest Open Access Initiative 「BOAI」

- ・オープンアクセス出版に関する**ベセズダ**声明

- ・自然科学および人文科学における知識へのオープンアクセスに関する**ベルリン**宣言

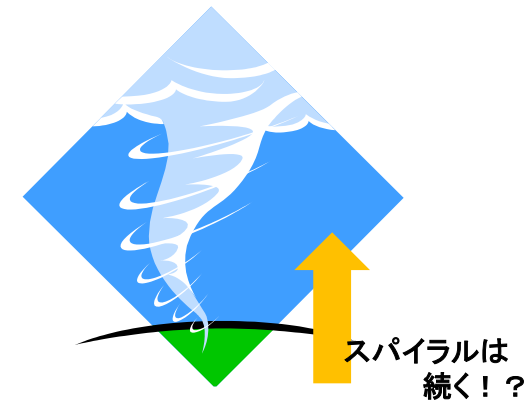
2. オープンアクセスとは？

その背景…

雑誌の危機 (Serials Crisis)

学術出版市場の寡占化、雑誌の価格高騰

電子ジャーナルのパッケージ契約



その歴史…

オープンアクセス運動年表 (Timeline of the open access movement)

<http://oad.simmons.edu/oadwiki/Timeline>

2. オープンアクセスとは？

OAを実現する手段 ～「BOAI」より～

セルフアーカイビング

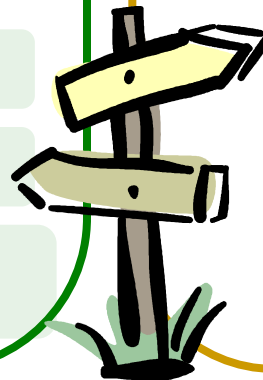
- 著者のウェブサイト
- 物理学分野のarXivを代表とする分野別のプレプリント・サーバー
- NIHの[Pub Med Central](#)に代表される政府主導の分野別アーカイブ
- 各大学・研究所が設置している機関リポジトリ

GreenRoad(緑の道)

オープンアクセス雑誌

- 著者(もしくは所属機関が対価を支払うことで、利用者は無料で論文を読むことが出来る電子ジャーナル

GoldRoad(金の道)



3. オープンアクセスと医学・看護学分野

実はとてもオープンアクセスが盛んな分野

- 生・命をテーマとした学問 研究⇔診療
- 知る権利・知らせる権利に真摯に取り組む分野
- EBM:根拠に基づく医療 これには情報が不可欠



情報に対してスピードと効率、的確さを求めるゆえに、電子化に対しても先進した考え方や取り組みがなされている分野

- 書誌データ → MEDLINE
- インターネット化 → PubMed

➤ オープンアクセス雑誌 → PubMed Central

- ・米国のNLM(National Library of Medicine)が提供元
- ・NLMはNIH(National Institute of Health)の下にあり、オープンアクセス運動では先進する組織

3. オープンアクセスと医学・看護学分野

【NIH(米国国立衛生研究所)】

2004: **パブリックアクセス方針**について議論を始める。

2005.5: 同方針の任意施行

2008.4: 同方針は、被助成者全員に**義務付**けられた。

米国連邦制定法の施行。
助成した研究成果論文は、
刊行後12ヶ月以内に
PubMed Centralへ提出

【ハーバード大学】

2008.2: 文理学部が、2008.5: ロースクールが、

2009.6: 教育学大学院が、

2010.3: ビジネススクールが、**OA方針を決定**

部局単位で決定し進める

【マサチューセッツ工科大学(MIT)】

2009.3: 研究成果の**OA義務化方針**を決定

大学で決定する

3. オープンアクセスと医学・看護学分野

次の輝きが非常に強い分野でもあります...

IF (Impact Factor)

雑誌掲載論文への信頼

オープンアクセスはPubMed Centralだけで良いか？

紀要雑誌 報告書類 教材も... 様々な学術研究成果がある
それらの情報発信を！

もちろん、学術雑誌論文も... 機関リポジトリから

4. 機関リポジトリと医学・看護学分野

その他のサービスとの違いは？

「電子図書館との違いは？」

- ・電子図書館は…図書館が所蔵しているものを(公開したいものを)公開している。読者のためのサービス。
- ・機関リポジトリは…研究者(機関)が公開したいものを研究者(機関)が公開している。読者もだが、著者のためのサービス。
図書館はその基盤(インフラ)を提供している。

「Webページとの違いは？」

- ・様々なサービスサイトやポータルサイトからの利用
ハーベスティングでメタデータ(書誌データ)の自動収集
- ・システムやコンテンツの拡張ができる
リンクリゾルバやCiNiiからの利用、研究者業績DBとの連携
- ・永続的なURIの取得…ハンドルシステム(DSpace)…

4. 機関リポジトリと医学・看護学分野

実はアクセスが多い分野 QIR(九州大学学術情報リポジトリ)の例

QIR-アクセス数上位10位

順位	アクセス数	タイトル	文献タイプ	掲載誌名
1	2,788	リアルタイムPCR: その原理と特徴	紀要論文	九州大学医学部保健学科紀要
2	2,240	不動産物権変動における公示の原則の動揺・補遺(1)-(10・完)	一般記事	民事研修
3	1,237	顔表情ロボットにおける駆動ユニットの分類に関する研究: アニマトロニクスのためのムービングユニットの提案	学位論文	
4	1,234	患者教育におけるナラティブ・アプローチの意義: 手術を受けるがん患者の一事例から	紀要論文	九州大学医療技術短期大学部紀要
5	1,189	病院内看護者による在宅療養に向けた退院指導: 過去10年間の文献から	紀要論文	九州大学医療技術短期大学部紀要
6	1,132	糖尿病の病因と病態生理: 新しい病型分類と診断基準を中心として	紀要論文	健康科学
7	1,097	発達障害児をもつ親の障害受容過程についての文献的研究	紀要論文	九州大学心理学研究
8	1,069	初回基礎看護実習におけるプロセスレコードの分析: コミュニケーションのつまづき場面に焦点をあてて	紀要論文	九州大学医療技術短期大学部紀要
9	1,067	入浴における安全・衛生の確保と快適性の向上に関する研究: 特にレジオネラ症について	学位論文	
10	972	雲仙火山1991年6月3日の火砕流による人的被害	紀要論文	九州大学大学院理学研究院研究報告. 地球惑星科学

4. 機関リポジトリと医学・看護学分野

リポジトリの中でもアクセスが多い医学・看護学分野

学術研究成果は研究者だけでなく
一般社会からも強く求められている

オープンアクセス(OA)の理念

論文などの学術研究成果は、本来、人類にとって共通の知的財産であり、
その内容を必要とする全ての人がアクセスできるようにすること

開かれた社会 Open Society へ



OAの傍観者から一步踏み出す

のは...難しいこと...ではなく

機関リポジトリからの情報を発信 行動しよう！

さいごに：機関リポジトリの可能性

図書館が行っている様々な取り組み

国立情報学研究所(NII)による
学術機関リポジトリ構築連携支援事業(CSI委託事業)

【HP】 <http://www.nii.ac.jp/irp/rfp/>

中身なくして、リポジトリなし

利用者(研究者)なくして、リポジトリなし

研究者・機関職員・図書館員ともに可能性を考えていきたい

著作権・制度、技術、コスト、人、課題は多い



それは、課題をクリアし、可能性が広がることも意味している

参考資料・URL

2010.10現在

1. 機関リポジトリ擁護論: SPARC 声明書
http://www.tokiwa.ac.jp/~mtkuri/translations/case_for_ir_jptr.html
 2. ARLリポート(隔月刊) 226 2003年2月号 機関リポジトリ: デジタル時代における学術研究に不可欠のインフラストラクチャ <http://www.nii.ac.jp/irp/archive/translation/arl/>
 3. 倉田 敬子. オープンアクセスとは何か. 情報の科学と技術, 2010, 60巻4号, p132-137.
 4. 栗山 正光. オープンアクセス関連文献レビュー: 「破壊的提案」から最近の議論まで. 情報の科学と技術, 2010, 60巻4号, p138-143
- ・ 電子ジャーナルとオープンアクセス環境下における日本の医学研究者の論文利用および入手行動の特徴. Library and Information Science, 2009, No.61, p59-90
 - ・ 第6回 SPARC Japan セミナー2009(第11回図書館総合展学術情報オープンサミット2009フォーラム)「NIH Public Access Policyとは何か」
<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2009/20091111.html>

参考資料・URL 2010.10現在

【カレントアウェアネス・ポータル】図書館界、図書館情報学に関する最新の情報を
お知らせするNDLのサイト

<http://current.ndl.go.jp/>

【OpenDOAR】SHERPAが運営するオープンアクセスリポジトリのディレクトリ

<http://www.opendoar.org/>

【ROAR】サウサンプトン大学が管理する機関リポジトリのディレクトリ

<http://roar.eprints.org/>

【DRF (Digital Repository Federation)】メーリングリストやウェブサイト、集合イベントなどでの
情報共有、意見交換を通じ、国内における機関リポジ
トリの発展とオープンアクセス思潮の興隆につとめています



<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/>